

再 評 価 書

箇所名	浅谷越線	事業名	林道事業	課 名	治山林道課
事業概要	工 期	平成6年～平成38年	全体事業費	3,041百万円(負担率：国50%：県50%)	
	(下段前回)	平成6年～平成26年	(下段前回)	2,411百万円(負担率：国50%：県50%)	

事 業 目 的 及 び 内 容

(1) 所在地

熊野市飛鳥町地内の国道42号から小又地内に延びる市道小又線を起点とし、尾鷲市との境界に近い浅谷越を経て、新鹿町地内の市道津恵線を終点とします。

(2) 事業の目的

路網が未整備な熊野市北東部の森林における骨格となる林道として、森林の適正管理と森林資源の有効利用を図るとともに、熊野原木市場への短縮ルートとなることから、運搬コストの低減などによる林業の生産性向上が期待されます。

また、市内を南北に縦貫する主要道路の国道42号と国道311号、熊野尾鷲道路を連絡する道路として地域道路網を形成することにより、津波などで沿岸部の国道311号が被災した場合の迂回路などとして、地域における安全確保等の役割を果たすことも目的としています。

(3) 全体計画

- ① 延長 : 15,080m (うち起点から4,140mは既設林道を改築利用)
- ② 幅員 : 4m
- ③ 事業費 : 3,040,780千円 (202千円/m)
- ④ 事業期間 : 平成6年度～平成38年度 (33年間)

(4) 利用区域の森林資源の状況

当該路線の利用区域面積は1,056ha、国有林を除いた民有林面積は864haです。利用区域内のスギ・ヒノキ人工林は887haで、人工林率は84.6%です。人工林の87.4%が11～60年生の間伐対象の森林です。

事 業 主 体 の 再 評 価 結 果

1 再評価を行った理由

平成21年度に、三重県公共事業再評価実施要綱第2条に基づき再評価を行いました。再評価実施後5年を経過しましたことと併せて、線形確定による全体計画の変更を行いたいことから再評価を行いました。

2 事業の進捗状況と今後の見込み

(1) 事業着手

平成6年度全体計画調査実施、平成7年度に新鹿側工区から着工、現在は2工区で実施。

(2) 進捗状況 (平成25年度末の事業量)

- ① 開設延長 : 11,636m (進捗率 77.2%)
- ② 事業費 : 2,190,680千円 (進捗率 72.0%)

(3) 課題

新鹿側工区において、線形が当初計画から変わったことから再測量を実施した結果、完成までの全体計画延長が2,380m延びることが判明したため、現在の事業計画期間及び全体事業費での完成は困難となっています。

(4) 利用区域内の森林整備の状況

	計画		H25調査時点		備考
	整備面積	うち間伐	整備面積	うち間伐	
H16～20	196 ha	146 ha	194 ha	127 ha	実績
H21～25	329 ha	306 ha	257 ha	214 ha	〃
H26～30	192 ha	187 ha	—	—	計画

3 事業を巡る社会経済情勢等の変化

1) 周辺環境の変化

- ①熊野市は、平成17年11月1日に熊野市と紀和町の合併により誕生しました。
- ②熊野市では、平成20年度を始期とする総合計画を樹立し、木材流通の拡大を目標に掲げ、その実現のために行政が果たすべき役割として、林道、作業道の整備を上げています。
- ③熊野原木市場における素材の取扱量及び売上高は平成13年度をピークに減少し続けていましたが、平成22年度より増加傾向にあります。
- ④平成24年4月に広域合併した三重くまの森林組合が、地域林業の中核的担い手として、行政機関や関係業界などと一体となって、地域の森林整備と保全を進めています。

4 事業採択時の費用対効果分析の要因の変化、地元意向の変化等

4-1 費用対効果分析

費用対効果は、前回1.73から、今回は1.91に増加しています。

	前 回	今 回
B (便益)	5,163,970千円	7,766,484千円
C (費用)	2,981,356千円	4,067,377千円
B/C	1.73	1.91

4-2 その他の効果

津波などの災害時の迂回路などとして、地域における安全確保等の役割が期待されます。

4-3 地元意向

熊野市では、林業振興や森林の適正管理を促進するとともに、避難道路としての役割もあることから事業継続を望んでいます。

5 コスト縮減の可能性や代替案立案の可能性

5-1 コスト縮減

波形線形の採用や路肩の縮減、またコンクリート擁壁に替えて補強土壁工を積極的に活用し、土工量と法面保護工を減らすことなどによりコスト縮減を図ります。

5-2 代替案

当路線の利用区域内の森林整備を図る必要があることから、当林道を開設する以外に代替案はありません。

再 評 価 の 経 緯

《平成21年委員会意見》

事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。

事 業 主 体 の 対 応 方 針

三重県公共事業再評価実施要綱第3条の視点を踏まえて再評価を行った結果、同要綱第5条第1項に該当すると判断されるため、コスト縮減と環境配慮に努めながら早期完成を目指し、事業を継続いたしたい。

※再評価実施事業は(下段前回)とし、前回再評価時の内容を記載する。未実施の場合は(下段当初)とし、当初計画時の内容を記載する。



林道浅谷越線 位置図 1:75000

区分	凡例	区分	凡例
市町村界	— · — · —	国道	—— (Blue)
林道利用区域	—— (Yellow)	県道・市道	—— (Red)
浅谷越線	—— (Black)	林道	—— (Purple)
	—— (Red Dashed)	保安林管理道等	—— (Green)
市庁舎	◎	関連施設	■

尾鷲市

熊野市

熊野原木市場

熊野市役所

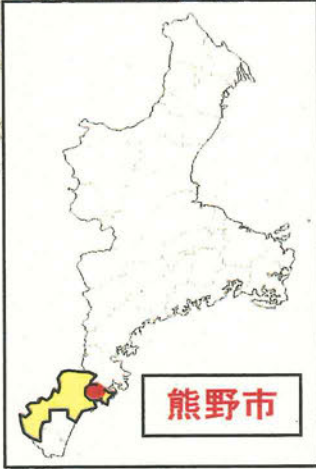
至 和歌山

至 尾鷲

熊野尾鷲道路

国道42号線

国道311号線



熊野市

起点
市道

終点
市道

大泊IC

新鹿IC

賀田IC